

北ホテル (1938)

HOTEL DU NORD

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 110分

初公開日 1949/08/20

公開情報 S E F = 東宝

【解説】

パリのサン・マルタン運河のほとりに建つ北ホテルは貧しい人向けの安宿で、そこには様々な人生が吹き溜まっていた。ある日、失業をはかなんだ若きピエール（J=P・オーモン）と恋人ルネ（アナベラ）がその一室で心中を図った。最後の接吻を交わし女を射った男はしかし、急に恐怖にかられ自分に銃口を向けられず、隣室の中年男エドモン（L・ジュールヴェ）に促されその場を去るが、翌日には警察に自首し、ルネも命を取りとめる。行くあてのない彼女はホテルでメイドとして働くことになり、想いを寄せていたエドモンは情婦のレイモンド（アルレッティ）と縁を切る。刑務所のピエールはルネに別れ話を持ちかける。彼女は思い切ってエドモンとマルセイユに発つことにしたが、結局、ピエールに未練があり、ホテルへ舞い戻る。7月14日、革命記念日の騒ぎの中、エドモンはかつての仲間に撃たれてしまう……。H・ジャンソンとJ・オーランシュの台詞は耳に心地よく、アルマン・トロネルのセットも見事。L・ジュールヴェの苦みばした個性が映画に締まりを与えている、M・カルネの戦前の代表作。

【クレジット】

監督	マルセル・カルネ	Marcel Carne
原作	ウージェーヌ・ダビ	
原案	アンリ・ジャンソン	Henri Jeanson
	ジャン・オーランシュ	Jean Aurenche
脚本	マルセル・カルネ	Marcel Carne
台詞	アンリ・ジャンソン	Henri Jeanson
	ジャン・オーランシュ	Jean Aurenche
撮影	アルマン・ティラール	Armand Thirard
音楽	モーリス・ジョーバール	Maurice Jaubert
出演	ジャン＝ピエール・オーモン	Jean-Pierre Aumont
	アナベラ	Annabella
	ルイ・ジュールヴェ	Louis Jouvet
	アルレッティ	Arletty
	フランソワ・ペリエ	Francois Perier
	ポーレット・デュボスト	Paulette Dubost
	ベルナル・ブリエ	Bernard Blier